

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(中学校用)

都道府県名	茨城県
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	金砂郷町立北中学校					
学 年	1 年	2 年	3 年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	2	1	0	5	13
生徒数	43	41	34	0	118	

研究の概要

1. 研究主題

<p>確かな学力を身に付けた児童生徒の育成(指定校区の研究主題) —— 一人一人に応じたきめ細かな指導の工夫 —— (本校の研究主題)</p>
--

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

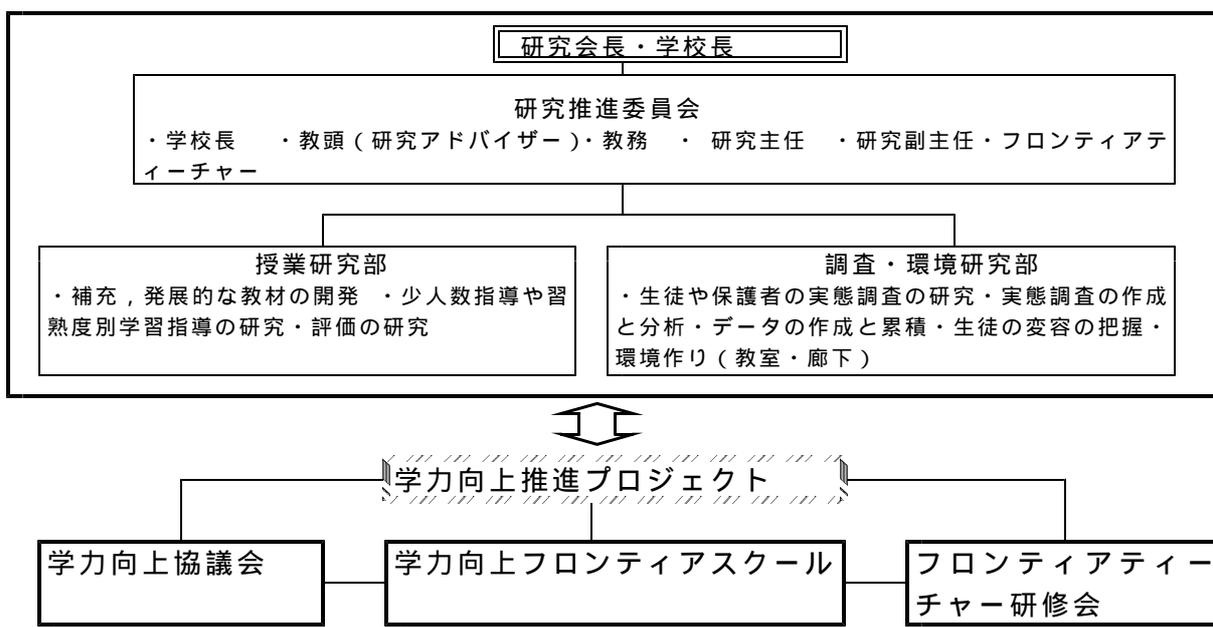
<p>・1～3年生 ・英語 生徒の理解の状況に差が出やすい教科であるため。 ・2年生 ・国語 単元によって、学力の定着度合いに差が生じやすい実態を踏まえ、研究の必要性を感じたため。</p>

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本を確実に身に付けた生徒の育成 ・自ら学び、課題解決のために主体的に学習に取り組む生徒の育成 <p>研究の見通し(仮説) 確かな学力を身に付けた生徒の育成を目指し、個に応じた指導のための指導方法、指導体制の工夫改善に焦点を当て、実践研究を行う。そのために、</p> <p>一人一人に応じたきめ細かな指導の工夫を研究する。 発展的な学習や補充的な学習のための教材の開発を行う。 上記の2つを研究の柱として位置付け、実践する。</p> <p>研究の内容・方法</p> <p>ア 少人数指導の研究及び実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語科における習熟度別少人数指導、均等分割型少人数指導の実施 ・国語科における同一課題による均等分割型少人数指導の実施 <p>イ 習熟度別学習指導の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語科における習熟度別少人数指導、均等分割型少人数指導の実施 ・選択教科(国語、数学、英語)における習熟度別学習の実施 ・習熟度に合わせた補充・発展教材の開発 <p>ウ 基礎・基本を定着させるための実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎力テストの実施(毎学期、国語、数学、英語で実施) ・朝のドリルにおけるT・Tの実施 ・全教科全単元の基礎・基本表の作成 <p>エ 保護者への情報提供と実態調査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校だより、英語科通信の発行 ・保護者及び生徒への意識調査の実施
--------	--

平成16年度	<p>テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本を確実に身に付けた生徒の育成 ・自ら学び、課題解決のために主体的に学習に取り組む生徒の育成 <p>研究の見通し（仮説）</p> <p>前年度の実践を踏まえ、確かな学力を身に付けた生徒の育成を目指し、個に応じた指導のための指導方法、指導体制の工夫改善のより一層の充実を図るための研究実践を継続して行う。そのために平成16年度は、以下の3点を柱として研究を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人一人に応じたきめ細かな指導の工夫・改善 発展的な学習や補充的な学習のための教材の開発 習熟度別学習指導の研究と実践 <p>研究の内容・方法</p> <p>ア 少人数指導の研究及び実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語科における習熟度別少人数指導の実施 ・国語科における同一課題による均等分割型少人数指導の実施 <p>イ 習熟度別学習指導の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語科における習熟度別少人数指導の実施 ・全教科での効果的な習熟度別学習のあり方の研究 ・選択教科（国語，数学，英語）における習熟度別学習の実施 ・習熟度に合わせた補充・発展的な教材の開発 <p>ウ 基礎・基本を定着させるための実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎力テストの実施（毎学期，国語，数学，英語で実施） ・朝のドリルにおけるT・Tの効果的な運用の研究 ・基礎・基本表の見直し <p>エ 保護者への情報提供と実態調査の実施，変容の分析及び考察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校だより，英語科通信の発行 ・保護者及び生徒への意識調査の実施 ・学力テスト等の結果の分析と考察
--------	---

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究の成果

ア 少人数指導について

少人数による習熟度別学習指導を行った結果、基礎・基本が定着し、発展的な内容の理解度も高まったとともに、学習意欲の向上にもつながった。

英語科

- ・Unit 終了後に新出単語や新出文のミニ自己診断テストを行い、コースを自己選択する上での参考となるようにした結果、生徒が自己評価を適切に行う能力が身に付くとともに、学習意欲の向上につながった。
- ・コース別の学習シートを作成し、活用したことにより、基礎・基本の定着と個に応じた学習活動を展開することができた。
- ・I・Iカード(個人カルテ)、E・Cカード(英会話カード)、S・M・Eカード(自己・相互評価カード)の活用により、一人一人に応じたきめ細かな指導を行うことができた。

国語科

- ・等質型少人数指導を実施したことにより、学習内容の理解の徹底と学習意欲の向上という観点から、大変効果があった。(アンケート参照)
- ・評価と指導法という観点では、生徒一人一人の活動をリアルタイムで評価しそれに応じた指導ができた点が大変効果的であった。また、自己評価カードの活用により、生徒のつまづきを的確に把握し、一人一人に応じた指導につなげることができた。

* 英語科のアンケート結果(3年生生徒対象)

Q1 習熟度別少人数学習の感想

とてもよい	32%	まあまあよい	58%	何ともいえない	10%
-------	-----	--------	-----	---------	-----

Q2 テレビ英会話を見るようになりましたか

はい	81%	いいえ	19%
----	-----	-----	-----

Q3 家庭学習に以前よりも積極的に取り組むようになりましたか。

はい	100%
----	------

* 国語科のアンケート結果(2年生対象)

・文法学習後における生徒の感想の比較

	プラス評価(わかった,できた,おもしろかった,等)	マイナス評価(難しい,わからない,覚えられない,等)
7月実施(一斉指導)	56.5%	43.5%
10月実施(少人数指導)	67.0%	33.0%

* 少人数指導に関するアンケート結果(3年生生徒対象)

	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	全然あてはまらない
少人数での学習は, わからない内容を質問しやすい	56%	42%	2%	0%
少人数での学習は, 内容がわかりやすい	40%	58%	2%	0%
少人数での学習は, 授業にやる気が出る	36%	58%	6%	0%

- イ 習熟度別学習指導について
 選択教科を習熟度別でコース設定した結果，生徒自身が自分の力を知り，それを伸ばそうという主体的な学習が見られ，それが定期テストの伸びにもつながった。
- ウ 基礎・基本の定着について
 全職員で朝のドリルのT・Tに取り組んだ結果，教師と生徒とのコミュニケーションが高まり，生徒が気軽に相談できるようなアットホーム的な環境を作ることができた。
- エ 保護者への情報提供と実態調査について
 英語科通信を定期的に発行することにより，習熟度別学習に対する保護者の理解を得ることができた。また，保護者や生徒への意識調査を行ったことにより，保護者の要望や生徒の学習に対する意識を把握することができ，教科指導に生かすことができた。

2. 今後の課題

- 今年度の実践の成果と反省を踏まえ，次年度は以下の点を重点的に研究していく。
- ア 英語科，国語科以外の教科の習熟度別学習指導への取組と指導法の研究
 - イ 個に応じた指導のためのよりよい教材の研究開発
 - ウ 基礎・基本の定着のためのきめ細かな指導法の研究
 - エ 指導と評価の一体化のための評価方法や，評価場面，評価手順の研究
 - オ 意識調査やアンケート，学力の分析結果等を指導に生かすための具体的な方策の研究

学力把握のための学校としての取組

- ア 生徒の学習に対する意識調査 1，2学期実施
 (好きな科目や各教科への取組の様子，家庭学習の様子等の実態把握)
- イ 県「学力診断のためのテスト」の分析と検証 4月
 (金砂郷町の学力向上対策協議会の分析を受け，各教科で検証し，指導に生かす。)
- ウ 特別室(図書室，理科室，パソコン室)の利用状況調査 9月
 (夏休みの自主学習等のために生徒が利用した回数を記録し，主体的な学習への取組状況を把握する。)

フロンティアスクールとしての研究の普及

- 研究協議会の実施
- | | |
|-----|-----------------------------|
| 日 時 | 平成15年11月27日(水) |
| 会 場 | 本校 |
| 対 象 | 県内のフロンティアスクール，県北管内の小・中学校の職員 |
| 目 的 | 研究内容及び研究の実践を他校や他の地域に紹介する。 |
- * ホームページ上での成果の公開 H15.3, H16 随時(予定)(本校ホームページ)

- | | | | | | | |
|----------------------|--|--------------------------------|-------------------------------|------------------------------|---|-----------------------------|
| 【新規校・継続校】 | ✓ 15年度からの新規校 | 14年度からの継続校 | | | | |
| 【学校規模】 | 3学級以下 | ✓ 4～6学級 | 7～9学級 | 10～12学級 | 13～15学級 | 16学級以上 |
| 【指導体制】 | ✓ 少人数指導 | ✓ T・Tによる指導 | その他 | | | |
| 【研究教科】 | <input checked="" type="checkbox"/> 国語 | <input type="checkbox"/> 社会 | <input type="checkbox"/> 数学 | <input type="checkbox"/> 理科 | <input checked="" type="checkbox"/> 外国語 | <input type="checkbox"/> 音楽 |
| | <input type="checkbox"/> 美術 | <input type="checkbox"/> 技術・家庭 | <input type="checkbox"/> 保健体育 | <input type="checkbox"/> その他 | | |
| 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 | ✓ 有 | | 無 | | | |